

SSH通信

～第Ⅲ期 新しい挑戦を楽しもう！～

No.2 発行 2024.8.26

三高探究の日 2024.5.16(火)

5月16日(木)に三高探究の日(探究活動成果発表会)が仙台第三高等学校で開催されました。3年生が2年生から1年間取り組んできた研究の成果を三高生や来賓(大学教授など)、他校生の方々に発表しました。1、2年生にとってはこれからの自分たちの探究活動をイメージする機会となりました。そして、今年度は本校のOB・OGで、現在大学生の学生TAを招聘しました。在校生は研究を深めるとともに、卒業後のイメージを抱くことができたようです。午後は、海外交流として韓国チョンリョル女子高校(令和5年から2回目)とオンラインでお互いに英語での研究発表を行いました。仙台三高の大講義室にある双方向配信システムを活用し、英語での発表や活発な質疑に会場が盛り上がりました。仙台三高理数科では、Research Expression IIの授業のなかで東北大学グローバルラーニングセンター(GLC)の留学生との英語ディスカッションに取り組んでおり、その成果を十分に発揮することができました。この他、2年生全員が自分の探究活動について3分間のプレゼンテーション(3min)を行い、3年生から厳しくも温かいアドバイスがありました。



探究の日、一日を通して(3年理数科)

代表模範発表では私達の研究を伝える大事さを、海外交流ではお互いに助け合っって問題を解決する姿勢を、ポスター発表では発表者がしてきた研究への礼儀を、それぞれ三高探究の日を通して再度学び直しました。例年よりも輪の広がった三高探究の日は、例年よりも多くの知見と深みを私達に与えてくれて、有意義な一日を過ごすことができました。

(3年理数科 工藤 颯斗)

海外の発表に触れて(3年普通科)

自分たちの探究を自分が思っていたよりも沢山の人の聞いてもらえて真剣に探究に取り組んできて良かったなと思いました。韓国の高校とのセッションも聞いて世界でも私達と同じようにSDGsに積極的に取り組む高校生の話が聞けてとても有意義な時間だったと思いました。様々なテーマを聞いてまた新しい視点や考えが自分の中で広げられたような感じがして他人の意見を聞くことの大切さを改めて感じる事ができました。

(3年普通科 中島 果歩)



探究の日を終えて(2年普通科)

今年はただのオーディエンスではなく自分たちも発表するという事で今まで学んできたこととかを最大限に活用して挑む探究の日となりました。データ集めや、スライド作成、仮説検証、実験など様々な手法がある中で自分たちの課題を解決するにはどの手法が一番良いだろうという葛藤もありましたが、無事に発表を終えることができ安心しています。次ははいよいよ私たちが主体となるイノベーションフェスタなどで今回頂いた質問を活かし、完成度がより高いものをイノベーションフェスタで発表できたら良いと思いました。

(2年普通科 佐藤 すみれ)



Regeneron ISEF 2024 (2024.5.11-15)



昨年12月に開催されたJSEC2023(第21回高校生・高専生科学技術チャレンジ)で花王賞を受賞した自然科学部化学班の生徒2名が、5月11~15日アメリカロサンゼルスで開催されたりジェネロン国際学生科学技術フェア(Regeneron ISEF)2024に日本代表として参加しました。惜しくも受賞はなりませんでした。研究を通じて世界中の人々と交流し、かけがえのない体験となりました。今まで応援、協力してくださった皆様、ありがとうございました。帰国後、ISEFでの活躍が評価され、文部科学大臣から文部科学大臣特別賞が授与されました。



東北大学工学部研修 (2024.5.21)

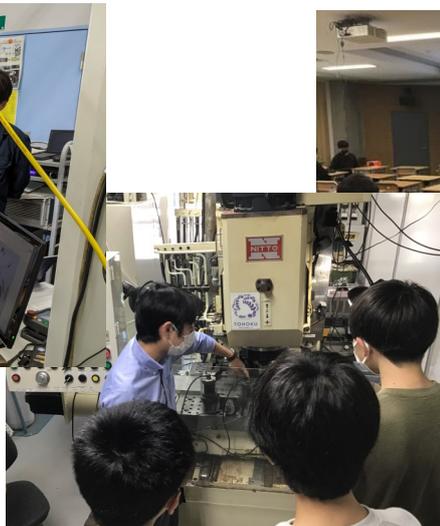
1年生理数科80名(全員)は令和6年5月21日(火)に東北大学工学部の多大なる御協力のもと、研究室訪問を行いました。16の分野に分かれ、研究室を訪問させていただき、研究室の先生、学生の方々から国際標準レベルの研究内容などについて教えていただきました。

東北大学は今年度、国際卓越研究大学に国内で初めて認定される予定となっておりますが、そのような素晴らしい大学の研究室を訪問させてもらえることはとても貴重な機会です。生徒たちもとても刺激を受けたようでした。その感動や学んだことをポスターにまとめて、発表会を行いました。発表会の様子は写真のとおりです。高校に入学して初めてのポスター発表、そして、発表となりました。

慣れていない生徒もいましたが、多くの生徒が堂々と発表し、質疑応答を繰り返し続ける姿は未来の研究者の姿を想像させるもので、大変心強く感じました。



研究室訪問の様子



研究室訪問
の報告会



課題研究クラゲ班が宮城教育大学研究室を直接訪問! (高大連携)



2年生理数科では理数探究の授業で研究を進めています。クラゲ研究班では、これからの研究についてアドバイスをもらうため、宮城教育大学出口研究室を訪問しました。

クラゲの研究を進めている大学生の研究発表会に参加させていただき、さらには出口先生から丁寧にご自身の研究について説明していただきました。さらに実際の研究に使っているクラゲも見せていただくことができました。発表に関しては、研究室には海外の研究者が訪問されていたため、発表はすべて英語でした。2年生理数科の生徒は台湾の生徒との交流も控えているため良い勉強になりました。